

海外事務所 主な活動報告（令和6年8月）

《ワシントン州事務所》

8月19日～22日、加東市長一行が姉妹都市提携先であるワシントン州オリンピア市を訪問した。

市長一行は、シアトル市内で再開発地区やまちなかアートを視察した後、オリンピア市へ移動し、同市主催の歓迎レセプションに参加した。歓迎レセプションでは、地元団体によるパフォーマンスが行われる等、和やかな雰囲気の中で交流が深められた。

当事務所は、両市の交流において、情報提供等の支援を行うとともに、今回の訪問の一部行程に同行した。

両市では、2025（R7）年に加東市からの青少年派遣等について調整する方向で検討しており、引き続き両市の交流を後押ししていきたい。

<加東市長のオリンピア市訪問>

○日 程 2024（R6）年8月20日（火）

○場 所 オリンピア・カントリークラブ（オリンピア市内）

○参加者 加東市長、オリンピア市長、オリンピア市議会議員、
姉妹都市委員会 等 約40人



オリンピア市から交流証明を贈呈

《パリ事務所》

本県の友好交流先であるドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州（以下SH州）の州都キール市で毎年8月に開催される国際文化イベントに、SH州独日協会と共同でブース出展し、来場者に兵庫の酒や素麺を振る舞うとともに、本県の観光地やひょうごフィールドパビリオンをPRした。兵庫の酒や素麺は来場者に大変好評だった。

また、2025年の大阪・関西万博を紹介する雑誌や万博マスコットのミャクミャクのぬいぐるみも設置し、酒蔵ツーリズムや手延べ素麺の工場見学など、兵庫の食文化に触れられる「ひょうごフィールドパビリオン」の各プログラムを紹介した。

<キール・ボートハーバー・サマー2024への出展>

○日 程 2024（R6）年8月3日（土）

○場 所 ボートハーバー・イベント会場
（ドイツ、キール市）

○参加者 出展者 国際友好団体等 約20団体
来場者 約5,000人

（うち、兵庫県ブースへの来訪者約200名）



兵庫を全面に打ち出した展示ブース

《香港経済交流事務所》

8月21日から24日にかけて開催された「日中地域間交流推進セミナー」に出席した。このセミナーは、日中の地域間交流を一層推進するため、自治体国際化協会（CLAIR）が中国外交部等政府関係機関や中国地方政府、日本国大使館、在中国自治体事務所等と連携し、毎年中国各都市で開催している。

20回目の今回は、テーマを「共に描く地方発展の新たなビジョン～イノベーション・グリーン発展～」として220名を超える過去最大規模の参加者を集め、講演やパネルディスカッション等を通じて地域の取組事例・施策に関する発表と意見交換が行われた。

日中間の交流がこれまでの友好親善を目的としたものに加え、課題解決型の交流が重視されるようになる中、日中の地方自治体関係者が一堂に会し、地方が抱える課題への認識や対応に向けたノウハウ等を共有した。

<「第20回日中地域間交流推進セミナー」等への出席>

○日 程 2024（R6）年8月21日（水）～24日（土）

○場 所 内モンゴルホテル（フフホト市）

○参加者 日本側69名、中国側152名、計221名



会場風景